

ACT!

支援者さまと国境なき医師団(MSF)をつなぐニュースレター

2024年10月号

紛争地に生きる 子どもたちに医療を



紛争下のパレスチナ・ガザ地区で避難生活を送る子どもたちと、宿舎の近くで交流するMSF救急医の中嶋優子。救えない命も多い中、子どもたちのつかの間の笑顔に癒やされることも。

© Megumi Aratame

パレスチナ・ガザ地区やシリアなど世界の紛争地では、多くの子どもたちが空爆や地雷の被害に遭い、過酷な運命を生きています。

小さな体に迫る命の危機と国境なき医師団(MSF)の医療援助活動についてご報告します。

財務・活動報告 2023 …… P4

皆さまの貴重なご支援のおかげで
実現できた医療・人道援助の記録

チーム国境なき医師団の輪 …… P6

MSF連絡帳 …… P7

遺贈寄付相談室だより …… P8

外傷・救命

“容赦なく落とされる爆弾” 空爆や地雷で負傷した 大勢の子どもたちの救命を

イ スラム組織ハマスとイスラエル軍による紛争で、極限状態が続くパレスチナ・ガザ地区。空爆など戦闘の激化により受け入れ可能な病院が減少し、保健医療体制の崩壊状態が続いています。

ガザ保健省によると、今年8月までに、1万人以上の子どもたちが命を落としています。ガザは人口密度が高い上、人口の半数が子ども。大人のように自分で身を守れないため、子どもに甚大な被害が及んでいるのです。

こうした中、国境なき医師団(MSF)はガザで医療・人道援助活



ヨルダン川西岸地区のMSFの診療所で診察を受ける少女。同地区も紛争の影響で医療が不足している。

動を続けてきました。今年2月、ガザ中部のアル・アクサ病院を中心に活動した看護師・倉之段千恵は現地の緊迫した様子をこう振り返ります。「日中も夜中も空爆があり、市民が暮らす場所に爆弾が容赦なく落とされました。患者の大半が女性と子どもで、小さな体に爆風で大やけどを負ったり、爆弾の破片が体に刺さったり……。広い部位の激しい痛みに対応できる鎮痛剤がなく、医薬品すら十分ではない中で、皆じっと手術の順番を待っていました」

ガザの紛争で保護者と家を失い、孤児になった子どもは既に約1万7000人^{※1}にも。この極限体験が今後、何年にもわたり心の傷となって残る懸念があるため、心のケアも急務となっています。

重傷と障害を負わせる “悪魔の兵器”「地雷」

空爆や砲撃のみならず、地雷も子どもにとっての大きな脅威です。



爆撃で足を負傷して、ガザ中部のアル・アクサ病院に入院している少女。家族は亡くなったが、医療スタッフたちに支えられてリハビリに取り組んでいる。

重傷と障害を負わせて子どもの将来をも奪う、まさに“悪魔の兵器”。

イエメン西部には何千もの地雷が道路や畑に仕掛けられ、子どもが踏んで手足に重傷を負う、視力や聴力に障害が残る例が続出しました。シリアでは、戦闘が一時収束した際、住んでいた町に帰還していた大人や子どもが家屋に仕掛けられていた地雷で負傷しました。MSFは各地で救急外科治療を行うほか、関係当局に地雷除去を訴えました。

傷を負った子どもたちにとって、MSFが届ける医療は命綱。手術やリハビリ、心のケアと、今後も息の長い支援が必要とされています。

※1：国連児童基金(2024年2月)

紛争地で子どもが直面する脅威

1 学校や病院への攻撃

人が密集する学校や病院は、攻撃の標的になりがち。学校や病院へのアクセスを制限することで、教育や心身の健やかな発達の機会を奪います。経済力を含め、市民を無力化する狙いもあります。

2 誘拐・拉致

子どもを不法に連れ去る誘拐・拉致。武装集団の人質にされるほか、戦闘要員として強制労働を強いられます。子どもは大人より従順なため、訓練しやすく命令にもよく従うことが理由とされています。

3 爆撃・暴力

子どもは戦闘区域から安全に避難することが難しいため、空爆や銃撃に巻き込まれることが多いです。男児は将来の兵士とみなされ、直接的な暴力にさらされて命を落とす例も少なくありません。

4 性暴力

主に女兒が強制結婚や売春、性暴力などの被害に遭います。望まない妊娠や性感染症、心の傷など、被害児が受ける心身への影響も深刻。性暴力に対する住民による偏見も社会課題となっています。

感染症・栄養失調

避難民キャンプでまん延する 「はしか」が子どもの命を奪う。 予防接種で封じ込めを

昨 春、スーダンの各地域で紛争が勃発して以来、人びとは国内外の避難民キャンプに逃れています。ここで暮らす子どもには、はしかが大きな脅威。感染力が非常に強く、過密状態の中で誰かがかかると一気にまん延する上、栄養失調と合わされると重症化する、命を脅かす感染症だからです。

MSFは白ナイル州などの避難民キャンプで、主に5歳以下の子どもたちを治療。過密なキャンプでは、大半がはしかにかかり、さらに栄養失調にもなっていました。今年2月に現地で活動したフランス・オカン医師は「毎日20～30人の子どもが入院するため、はしかの隔離病棟を用意してもすぐさま満床に。はしかと栄養失調という“死の組み合わせ”のために亡くなる子どもたちが何人もいて心が折れる時もありましたが、現地のスタッフを訓練しながら、教え切れない子どもたちの治療を続けました」と当時の様子を話します。



MSFはスーダンの北ダルフール州にある避難民キャンプで診療所を開設。子どもの栄養失調の度合いを調べる検査をし、治療を行っている。

病気への注意喚起と 予防接種で改善

MSFは日々の治療を続けるだけではなく、はしかの集団予防接種を実施。「予防方法を広める活動や予防接種が奏功して患者数は徐々に減少し、子どもたちの健康状態も改善に向かい始めました」(オカン医師)。

“感染症+栄養失調”のダメージに苦しむ国はスーダンだけではありません。マラリアを筆頭に、はしかやコレラ、髄膜炎などの感染症が猛威を振るうナイジェリアでも昨年、MSFは感染症の治療に加え、栄養失調外来で20万人以上もの子どもを治療しています。

※2：国連難民高等弁務官事務所(2024年8月)



チャドのキャンプで行ったスーダン難民へのはしかの集団予防接種の様子。チャドに逃れた人びとは60万人以上^{※2}とされる。

ガザ地区でのMSFの活動をまとめました

ガザ地区での激しい戦闘が始まって1年。MSFは現地に留まり、国際スタッフと現地スタッフの協力のもと負傷者の治療や医療体制の維持などに取り組んでいます。

- ガザの活動や声を伝える動画
- 現地に赴いた日本人スタッフの声
- 日本の方々の思い など

※内容は変更になる可能性があります。



ガザ南部の病院の手術室で術後の乳児を診るMSF救急医の中嶋。

スマートフォンから

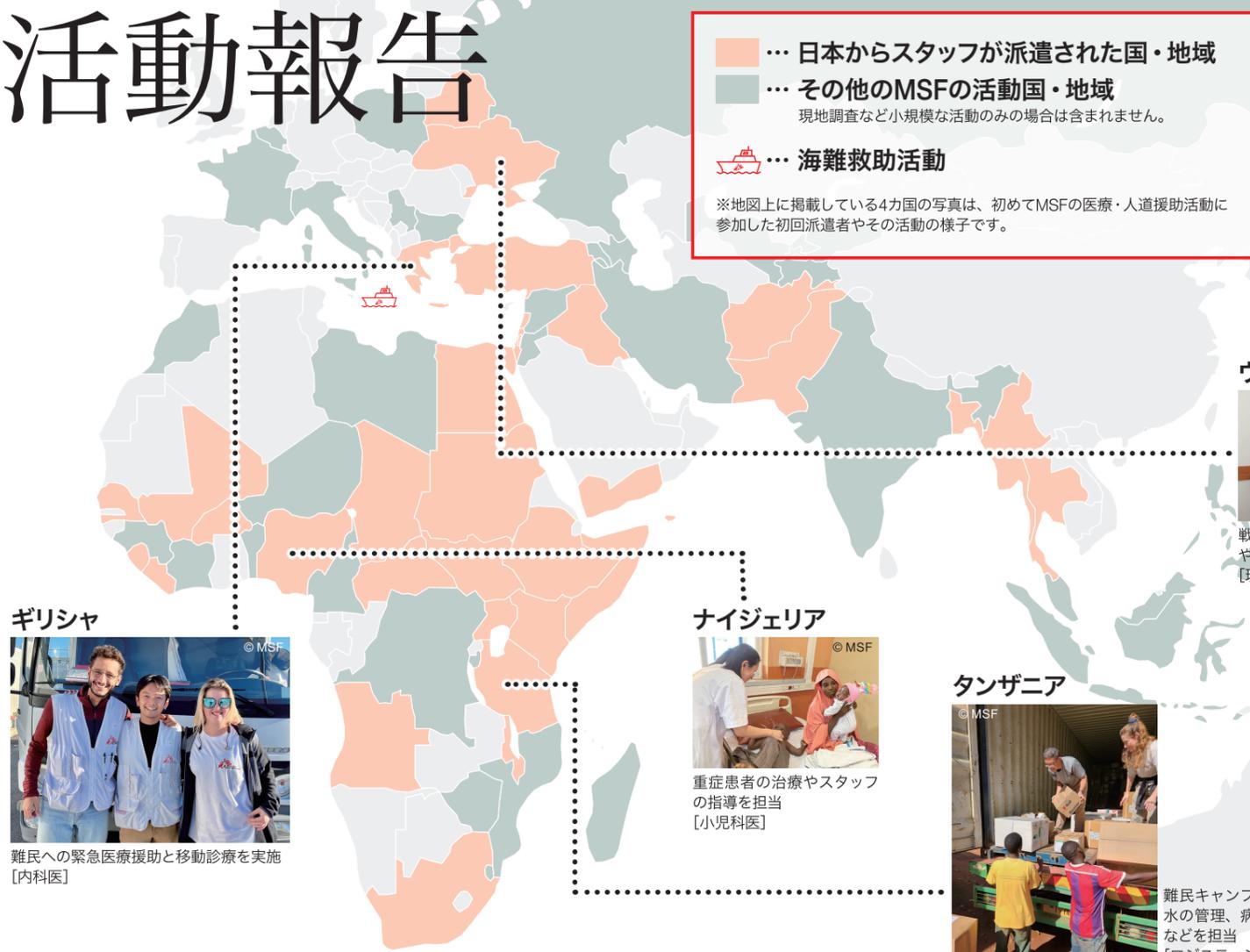


財務・活動報告 2023



国境なき医師団 (MSF) 日本の活動報告書2023年度版の要旨をお届けします。皆さまに支えられ、世界中の活動地に大きな力を送ることができました。心より感謝を申し上げます。

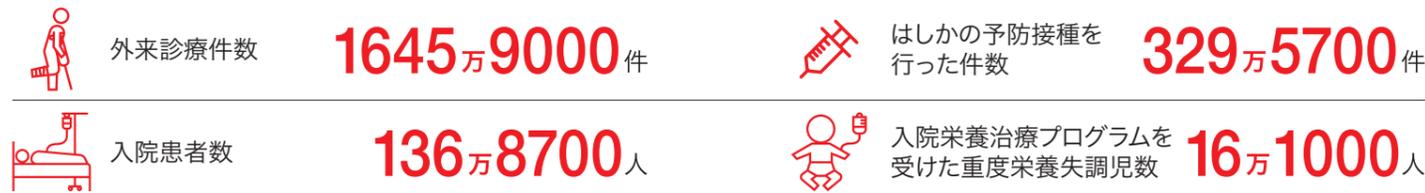
2023年、日本からは**35**の国と地域へ**103**人(延べ**132**回)を派遣しました。



活動地からの声
最後まで懸命に働く 現地スタッフに心打たれて
 うえにしりなこ
上西里菜子
 (プロジェクト・コーディネーター/パキスタン)
 © MSF

2022年夏のパキスタン大洪水で甚大な被害の出たグドゥで活動しました。栄養失調やマラリアの増加など膨大かつ長期的な医療ニーズを前に、水が引いた後もMSFは現地にとどまり、緊急援助を継続していました。通常、私の業務は医療や財務など部門間の調整や渉外を担い、プロジェクトを円滑に運営することです。しかし、今回は患者を地元の団体へ引き継ぎ、プロジェクトを終えて現地から撤退する役目を担いました。現地スタッフは皆、MSFの撤退が決まった後もプロ意識を保ち、最後まで懸命に働いてくれました。大半が地元出身で自らも被災者。現地の貧困問題をよく知っていて、自分たちが支えるという使命感が強かったのだと思います。彼らの働きには本当に心を打たれました。グドゥで緊急援助を続けられたのは、ひとえに皆さまの息の長いご支援のおかげです。ぜひグドゥで日々を懸命に生きる人びとのことを心に留めていただけたらと思います。

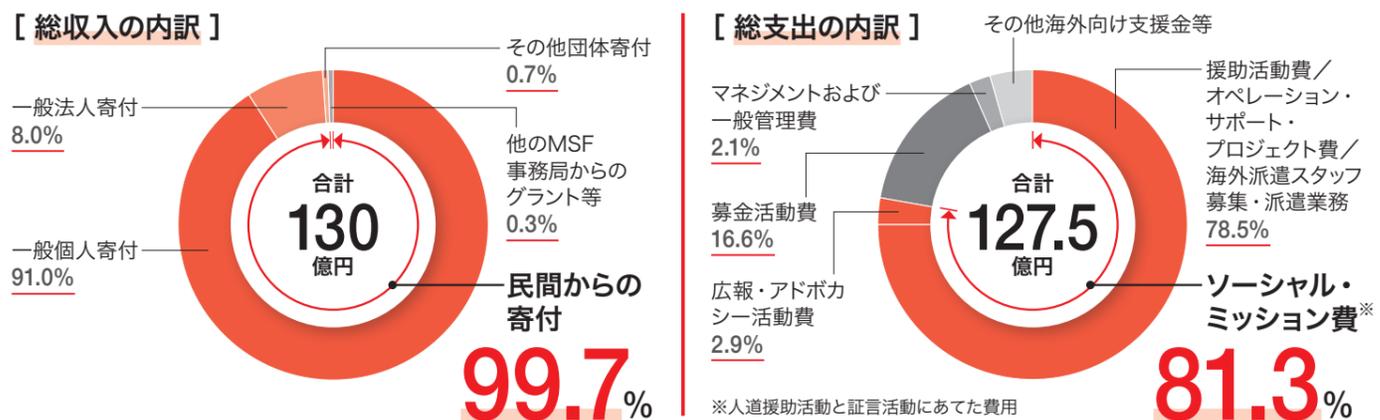
● MSFの活動実績(一部)



詳しくは活動報告書2023年度版をご覧ください。
https://my.ebook5.net/MSFJ_Publication/AR2023/

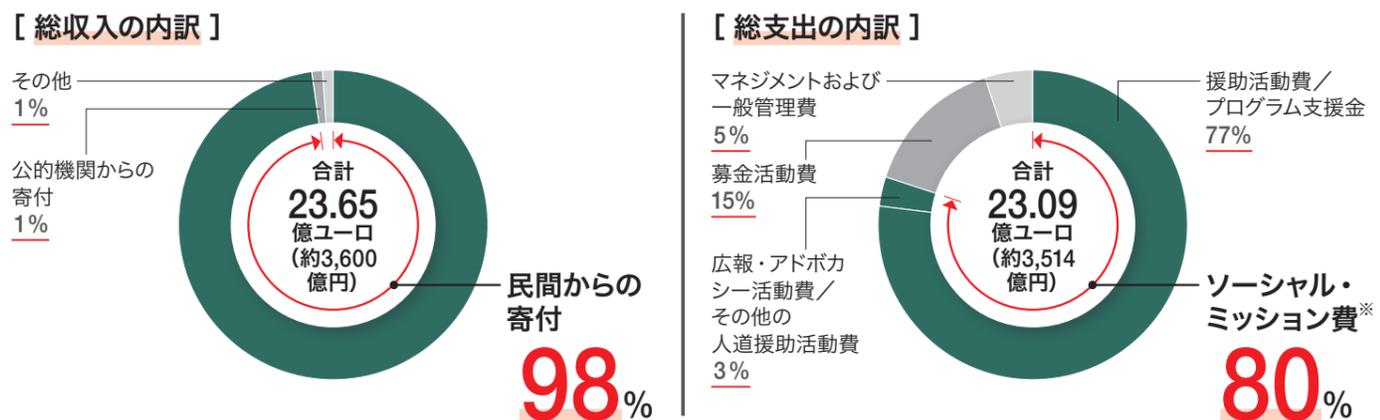
国境なき医師団日本

ご支援くださった**日本**の皆さま **42万7468**人



国境なき医師団全体

ご支援くださった**世界**の皆さま **730**万人以上



あなたとつながる、ひろがる。

チーム国境なき医師団の



医師や看護師だけでなく、さまざまな職種のスタッフが重要な役割を担い、力を集結して命を救う活動を行っている、国境なき医師団 (MSF)。今号はちょっと「意外な」仕事をしている3人をご紹介します！

意外なスペシャリスト編

スペシャリスト

1. 現地スタッフにはできる限り技術を伝えたい 自動車整備士 金子将規

私はいま、シエラレオネで、車両や発電機などの整備や、車両の運行管理を担当しています。悪路を走る車は消耗が激しく、整備が欠かせま



シエラレオネの車両工場で見学した様子。

せん。MSFに参加する前は日本で自動車整備士をしており、若いころから自分のスキルを世界で生かしたいと考え、英語学習などの準備をしてきました。MSFでの初めての活動地は南スーダン。洪水で車や機械が水没してしまいましたが、日本での経験をもとに修理することができました。

現地の整備士は、とてもまじめに仕事に取り組んでいます。「技術を追求し確かなものにしてこそ、技術者としての価値がある」というのが私の持論。現地のスタッフには、せっかく一緒に働くのだから成長してほしい、

できる限り私の知識と技術を伝えたい、という思いで仕事をしています。それに応えてくれた時はすごくうれしいですね。

これが私の必須アイテム



故障診断機

これを車両に接続してコンピューター解析し、不具合はどこかを発見できます。

スペシャリスト

2. 医療を受けられない人びとの思いに寄り添いたい ヘルスプロモーター 錦織聡子

ヘルスプロモーターの主な仕事は、地域のリーダーや住民の人びとに、病気の予防・対策の方法を伝えたり、MSFの活動が地域で受け入れられるように働きかけたりすることです。私は医療を受けられない人びとに寄り添いたいと思い、この仕事に就きました。

私が派遣されたパプアニューギニアでMSFは結核の治療を行っていましたが、患者さんの中には、治療を

悪いものと考え、中断してしまう人もいました。そういった人にはカウンセリングを重ね、家族や周囲の人びとも説明をし、信頼を得るようにします。その結果、患者さんが私たちのもとで元気を取り戻し、その後、同じ病気で苦しんでいた家族や村の人びとをMSFのクリニックに連れてきてくれました。大きな喜びを感じました。

スペシャリスト

3. 長い目で見てたくさんの人が助かる医療体制を築く アドボカシー担当 ベビシュタイン紗良

アドボカシー担当の仕事は、MSFの活動地の人びとに必要な援助が届けられるよう、政府や国際連合、他の団体などの関係者に働きかけたり、MSFが活動を終了した後も医療が提供されるような仕組み作りを呼びかけたりすることです。具体的には、まずその地域の医療システムや政府の方針などを調べ、長期的にどのような変化が必要なのかを洗い出して交渉の内容を決

定し、メディアなどさまざまな方法を使って活動国内外の関係者に必要な呼びかけをします。

この仕事は医療チームと違って、目の前にいる人ではなく、すぐには助けられないわけがありません。しかし長い目で見て、地域のたくさんの人が助かる医療体制を築くことができます。そういう未来を思い描くことをやりがいに、日々の仕事に取り組んでいます。



パプアニューギニアでは、結核の症状の説明や予防の方法を伝えることにも力を入れている。

これが私の必須アイテム

携帯ソーラーパネル

ボートと徒歩で何時間もかけてへき地へ移動する際、携帯電話の充電用に持っています。



これが私の必須アイテム

名刺入れ

弟からもらった名刺入れ。派遣先でもいつも持ち歩いています。



さまざまな人へって人間関係を築くことは重要な仕事の一つだ。

スタッフの言葉に触れるならSNSフォローをぜひ！

活動中の喜びやジレンマ、ご支援くださる皆さまへの感謝……。このような想いが詰まった海外派遣スタッフの言葉を、公式SNSアカウントで発信中。ぜひフォローしてお読みください。



フォローはこちら

MSF連絡帳



支援者対応担当から皆さまへ

寄付の税制優遇措置 (寄付金控除) について

国境なき医師団 (MSF) 日本への寄付は「確定申告」を行うことで寄付金控除の対象となります。申請の際には、MSF日本が発行した領収書が必要となります。なお、年末調整では寄付金控除の申告は行えませんのでご注意ください。

領収書のお届け時期について

「毎月の寄付」でご支援の皆さま

- 2025年1月下旬までに、2024年分年間領収書をご登録住所宛てにお送りいたします。

「今回の寄付」でご支援の皆さま

- MSF日本への入金確認後、都度発送しております。
- 1年分まとめて発送の設定にされている方には、2025年1月下旬にご登録住所宛てにお送りいたします。

2024年分の税制優遇措置 (寄付金控除) 対象の寄付のお申し込みについて

2024年11月以降のお申し込みで2024年分の寄付として領収書をご希望の方は、ゆうちょ銀行へのお振り込み (2024年12月末日付の振込完了まで) をお願いいたします。その他のお支払い方法の場合、11月以降のお申し込みは2025年分 (来年分) の寄付となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ご住所の登録変更は11月までに



© Ayano Kinoshita

領収書について、詳しくはこちら



「今回の寄付」のお支払い方法に Amazon Payが登場

Amazonアカウントにご登録のお届け先情報とお支払い情報 (クレジットカード、デビットカードまたはペイディ (後払い)) がご利用になれます。お支払い方法でAmazon Payを選び、画面の指示に従って操作してください。

※「毎月の寄付」と「ウェブ募金箱」にはご利用いただけません。

大好評! メルカリ出品の売上金を寄付できます

ご家庭で使わなくなったお品物があれば、ぜひ「メルカリ寄付」へ。出品して得た商品の売上金をメルペイ残高から寄付できます。下の二次元コードからMSFにご支援いただけます。

メルカリ寄付はこちら



いよいよ開催! エンドレスジャーニー展・東京

難民・避難民の人びとの現状とMSFの取り組みを伝える人気の展覧会です。『ACT!』持参の方には記念品*も!

*数に限りがございます。

- 開催日時: 2024年10月31日 (木) ~ 11月4日 (月・振休) 10:00 ~ 19:00
- 会場: 丸の内ビルディング (丸ビル) 1階 マルキューブ (〒100-6390 東京都千代田区丸の内2-4-1)
- 事前登録: 不要

※内容や開催日が変更される場合がございます。最新の情報は国境なき医師団ウェブサイトをご覧ください。

詳細はこちら



遺贈寄付

相談室だより

遺贈寄付相談室には今日もたくさんのお電話をいただいています。遺贈寄付に関して、よくいただくご質問をお問合せの多い順にまとめてみました。詳しい情報は二次元コードからどうぞ！ 遺贈と相続に関するコラムをお読みいただけます。



1 不動産は遺贈できますか？



いま住んでいるおうちは売るわけにいかないしー。

はい。国境なき医師団 (MSF) では不動産のご遺贈もお受けしています！ 一定の条件があり、また税金に関する注意点もございますので、事前にお問い合わせください。



くわしくは
こちら



えー、あたくしこのたび、ニャンともわかりやすい遺言書書き方ガイド『やさしい遺言書』の案内役を仰せつかりました！

ステップバイステップで遺言書が書ける自信作。

奮ってご請求くださいニャ

『やさしい遺言書』お申込み方法

遺贈寄付のご案内とセットでお送りします。下の二次元コードまたは右の電話番号から『ACT!』を見て」とお伝えください。お待ちしています！（『やさしい遺言書』の準備数が無くなり次第、受け付けを終了します）

お申込みは
こちら →



2 いくら残るかわからないのですが。



老後のカツオブシは我慢したくないものにやー。

ご心配なく！ 遺贈寄付は、もし使い切れなかった財産があった時は、その残った分をご逝去後に寄付いただくものです。どうぞ安心して、毎日を楽しくお過ごしてください。



くわしくは
こちら



3 遺言執行者を頼めそうな人がいません。



これも悩むところだにゃん。

そのような場合もぜひご相談ください。MSFが遺言執行者になることはできませんが、専門家のご紹介や、一緒にお探することも可能です。お気軽にお問い合わせください。



くわしくは
こちら



遺贈に関するご相談・お問い合わせ

遺贈寄付ってどうやるの？ 相続税はどうなるの？ など遺贈寄付に関する疑問は何でも気軽にご相談ください。秘密厳守、ご相談は無料です。

TEL 03-5286-6430

平日10:00～17:00 / 担当：荻野、今尾



© MSF



© MSF

イラスト/シンフィールド

お待ちしています！

『ACT!』のアンケートにご協力ください

今号の『ACT!』はいかがでしたか？ ぜひ皆さまのご感想をお聞かせください。お寄せいただいたコメントは事務局員が読み、今後の参考にさせていただきます。

締め切りは11月30日(土)中です。

ご協力くださった方の中から抽選で10名様にMSFオリジナルランチバッグを差し上げます。



アンケートは
↓ こちらから



ニュースレター **ACT!** 2024年10月号

発行元 特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
〒162-0045 東京都新宿区馬場下町1-1 FORECAST早稲田FIRST 3階

寄付・ご登録情報に関するお問い合わせ

TEL 0120-999-199 通話料無料

平日9:00～18:00 / 土日祝日、2024年12月28日～2025年1月5日休業

※ご住所など、ご登録の情報についての変更や、「毎月寄付」の変更は上記までご連絡いただくか、マイページでお手続きください。

マイページはこちら



国境なき医師団ウェブサイト www.msf.or.jp



※2024年8月の情報を基にしています。最新の情報は国境なき医師団ウェブサイトをご覧ください。